

和寒町消防団創立100周年 記念式典開催



新団旗手交

士別地方消防事務組合和寒町消防団（白土春夫団長）の創立100周年記念式典が9月12日（日）に、和寒町公民館恵み野ホールで行われました。和寒町消防団は1910年（明治43年）5月に私設消防組として設立され、公設消防組警防団・消防団へと組織を変遷し、1972年に士別地方消防事務組合和寒消防団となり、今日まで火災等の各種災害へ出動し、町民の生命財産の保護に、尽力されてきました。

式典では新団旗が伊藤昭宣町長から、白土春夫団長へ伝達されたほか、永年勤



昭和35年演習風景

続され退団、退職されたかたがたに感謝状が贈呈されました。

式典に続いて、記念祝賀会が行われ、消防関係者ら約150名が出席し、創立百年の歴史を振り返っていました。



式辞を述べる白土団長

和寒町消防団100年の歩み

明治43年5月	市街地区に私設消防組を組織腕用ポンプ2台を配置
大正元年8月	私設消防組を公設和寒消防組とする
12年4月	市街地中央部より出火、30戸を焼失する大火となる
昭和3年9月	鈴木式ガソリンポンプ2台購入配置
7年3月	南町国道沿いに消防番屋を新築
8年10月	中和消防組合解散 中和私設消防組となる
10年5月	中和私設消防組、公設和寒消防組に編入
13年4月	公設3部とし市街地西町に第2部機械置場を設ける
14年4月	和寒消防組 シボレー中古トラック購入、ポンプを積載して第1部に配置
22年9月	和寒消防組 V8ポンプ2台購入、第2部第3部に配置
25年4月	警防団令施行 警防団組織が発足 団員270人となる
31年4月	消防団設置条例制定 消防団を組織し、団員120名となる
36年7月	初めて消防ポンプ車を購入配備、常備員1名配置
38年8月	中和に消防会館を新築 屋上に消防用サイレン設置
46年5月	町消防団に分団制を導入 4個分団制となる
47年4月	町消防団創立50周年記念式典を挙行政
50年6月	市街地区に初めて防火水槽設置
53年8月	町に簡易水道が整備、市街地区に消火栓32基を設置
56年4月	北海道消防協会から消防団に表彰旗が授与された
58年8月	日赤から寄贈された救急車を使用し救急業務を開始
58年9月	広域消防体制を確立し消防力の強化を図るため、士別地方消防事務組合を発足し、和寒支署が設立され消防団は士別地方消防事務組合和寒消防団となる
59年10月	初めて水槽付き消防ポンプ自動車を購入配置
60年6月	台風6号による水害により出動し救助等の活動を実施
63年8月	この功績により北海道知事から表彰状を授与された
65年4月	現住所に和寒消防庁舎が新築落成移転業務を開始
68年4月	消防団の名称を和寒消防団から和寒町消防団に変更
70年8月	豪雨による水害により出動し救助等の活動を実施
75年9月	中和消防創立50周年記念式典を挙行政
80年9月	中和に第3分団詰所を新築
83年2月	和寒支署に高規格救急自動車購入配備
85年4月	町消防団組織の機構改革を実施し2個分団制とした
89年9月	町消防団創立100周年記念式典を挙行政



大正11年和寒消防組